

平成30年度 第2回伊勢崎市立境采女小学校運営協議会 会議録

日時：平成30年7月27日（金）14:00～16:00

会場：境采女小学校図書室、2年3組、3年1・2組

出席委員：田島（会長）、柳澤（副会長）、新木、南雲、
宮田、大谷、三澤、三木、新井

欠席者：廣川、川田、細谷

事務局：大川（生涯学習課係長）、
石原（教頭）、笠原（教務主任）

1 開会

会長挨拶

○田島：よろしくお願いいたします。

2 学校運営協議会委員と学校職員との懇談

（図書室、2年3組、3年2組、3年1組）

【A班】	（大谷委員、三澤委員、職員4名） ・学校での子どもたちの様子について ・子どもたちの食事のとり方について ・公民館の利用の仕方について
【B班】	（南雲委員、職員5名） ・児童のあいさつについて ・学校ボランティアについて ・地域との交流について
【C班】	（宮田委員、柳原委員、職員5名） ・年上の方への言葉遣いについて ・地域行事への参加について ・体力向上や生活習慣病の予防について
【D班】	（新木委員、三木委員、職員3名） ・熱中症対策について ・将来の夢を家庭で話題にすることについて ・体づくり、環境づくりについて

3 協議

（1）1学期の学校経営の重点について（校長）

○三木：1学期には、境北中の公開授業に境采女小の先生方に参観していただいた。2学期は、境采女小の公開授業に境北中の先生方に参観してもらおうと考えている。また、2学期には、本校の図書委員による読み聞かせを境采女小の3・4年生にさせていただいたり、国語科で学習した「本の紹介コーナー」を境采女小の校内に掲示させていただいたりして、交流をさらに深めていきたい。

(2) 学校評価について (教務主任)

○新木：「あいさつ」の項目に関しては、子どもたちの評価はいつも高く、自分たちなりによくできていると思っている。

○南雲：子どもたちは、「頭を下げるだけでもあいさつしている」ととらえているのかも知れない。また、子どもたちにとって担任の先生以外に対しては、なかなかあいさつできないのではないか。親であっても、学校の先生の顔と名前を覚えている人はそれほど多くないと思う。「地域とつながる」ことを推進する上では、学校公開日だけでなく、普段から保護者や地域の方に学校内に入ってもらえると良いのかも知れない。

○校長：「あいさつ」に関しては、子どもたちがいろいろな人とふれあえる経験が必要だと感じる。初めて会う人でもあいさつをしても大丈夫という経験をたくさんしてほしい。子どもたちがもっと地域の中に入って行く機会があるとよいと考えている。

(3) 班別

【広報班：柳原、三木、宮田、新井】

- ・前回、学校運営協議会だよりの原稿を依頼したところだが、今回テーマ例を考えた。資料にあるようなテーマに沿って原稿を書いていただけたらと考えている。

【文化教養班：三澤、大谷、石原】

- ・地域の人材コーディネーターとして、3学年の担任から依頼のあった養蚕の仕事から野菜農家に転業した方に連絡する準備をしておく。
- ・昔、養蚕の仕事をしていた方が、地域にきつといらっしゃるはずだから、まず、各区長さんにそういう方を知っているか聞いてみたい。
- ・話が聞けるようなら、公民館を会場にして集まってもらってもよい。

【健康安全班：新木、南雲、笠原】

- ・小中合同あいさつ運動に、2学期も参加したい。実施の際は、メールで連絡し、委員たちが集まってからあいさつの場所に移動するようにしたい。
- ・あいさつ運動では、腕章かたすきがあるとよい。
- ・毎年作成している安全マップに、災害時の危険箇所を一緒に示しておくようにしたい。

(4) その他

特になし

4 連絡

(1) 第3回学校運営協議会について（教頭）

次回は11月5日（月）13:00～15:30

授業参観と小中連携研修会への参加を予定

(2) その他

特になし

5 閉会